

市制 120年の絆

第4回

～これまでの市制施行記念事業～

数々の苦難を乗り越え、四日市市は120年間歩んできました。その間、市民の皆さんとさまざまな市制施行記念行事を行っています。今回はその一部をご紹介します。

市制施行60周年（昭和32年）では、市歌や新四日市音頭が作られ、レコードになりました。市歌は、現在でも、四日市港の礎を築いた稲葉三右衛門の功績をたたえて大四日市まつ

四日市市は平成29年8月1日に市制120年を迎えます。本市の歴史を振り返り、市への誇りや愛着を持って未来への展望を一緒に考えてみませんか。

りの一行事として行われる献花式や、ファミリー音楽コンクールなどのイベントの際に演奏されています。

70周年（昭和42年）では、中央緑地および体育館の起工式が行われました。昭和50年に開催されたみえ国体では、体育館が体操競技の会場となりました。

80周年（昭和52年）では、記念誌「目で見える郷土史四日市の歩み」を刊行したほか、各世帯に年表「四日市の歩み」を配布しました。また、四日市市文化会館は、80周年記念事業として建設されたものです。

来年8月1日に120周年を迎える四日市市。1月上旬号では90周年以降の記念事業をご紹介します。

四日市市歌(抜粋) 作詞:佐佐木信綱

あけぼの清き 伊勢の海
内外(うちと)の船の 出で入(いる)港
わが四日市 大(だい)四日市
七つの洋(うみ)の 潮(しお)の香(か)の
マストの旗に こもる汽船(ふね)
小舟(おぶね)の白帆 画(え)のごとし

市歌は、市ホームページ
(<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu68019.html>)から聴くことができます。



問い合わせ先

政策推進課

(☎354-8112 FAX354-3974)



18歳以上の皆さんに投票を呼び掛けるタイトルロゴです。

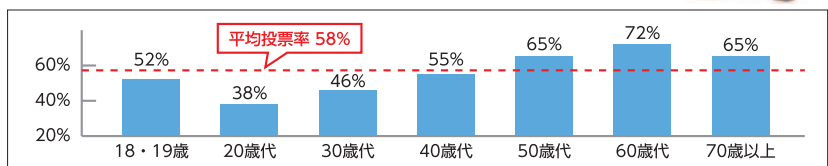
選挙のたびに話題となる投票率は、有権者が投票しようとする意識（選挙への関心）の高さが分かる数字として示されています。

年代別に見ると、若年層の投票率は、ほかの年代に比べて低い傾向にあります。

今回は、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた夏の参議院議員選挙の投票率を見てみましょう。

18歳・19歳の投票率は？

四日市市の年代別の投票率は次のとおりでした。18・19歳の人々の政治・選挙への関心が、20歳代や30歳代の人よりも高かったことがうかがわれます。



11月27日(日)に行われる市長選挙は、私たちのまちの代表を選ぶ最も身近な選挙の一つです。18歳・19歳の皆さんはもちろん、先輩有権者の皆さんも、今まで以上に、市政に関心を持って投票してくださいね。

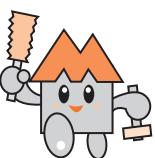
問い合わせ先

選挙管理委員会

(☎354-8269 FAX359-0286)

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労

随時加入者募集中

四日市支部

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。